

令和3年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(国語)科目：(国語総合) 対象：(第1学年1組～5組)

科目担当者：(1・2組：い組 小池泰成[㊞] ろ組 渡邊俊輔[㊞] は組 市川政弘[㊞] に組 高橋一誌[㊞]・和田稔[㊞])

(3・4組：い組 小池泰成[㊞] ろ組 渡邊俊輔[㊞] は組 市川政弘[㊞] 林田千花[㊞] に組 高橋一誌[㊞])(5組：い組 小池泰成[㊞] ろ組 渡邊俊輔[㊞] は組 市川政弘[㊞]・山口真二[㊞])

教科・科目の 指導目標	・相手が感じていること、思っていること、考えていることを的確に判断できるようになる。 ・基本的な学習姿勢を身に付け、注意して聞く、書く力をつける。 ・互いに伝え合うコミュニケーション力を付ける。 ・知識を得、心を豊かにし、考える力を伸ばす。 ・言葉の重みを理解し、言葉を大切に使う。 ・漢字検定4・5級の漢字が日常生活の中で使えるようになる。
----------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	1 基本的な漢字を書くことができない。 2 小学校または中学校において、望ましい学習習慣が身に付いていない。 ※本校では学力検査による入試を実施していないため、年度当初の授業中の生徒観察から判断した。	1 週1回、漢字テストを実施。テスト結果やノート提出で生徒の漢字能力を適宜把握し、必要に応じて課題を課し常用漢字を書けるようにする。 2 授業の際に持ち物のチェックを行い、授業に向かう基本的な姿勢を身に付けさせる。	1 教科会の開催を増やし、生徒の現状把握と対応方法について協議を重ねていく。 2 年間授業計画に基づき、授業担当者間で随時授業内容や進度の打ち合わせを行い、統一的な指導を行う。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			